



よこはま



URL <http://www.mod.go.jp/rdb/s-kanto/>



Photo:明月院(鎌倉市)のあじさい

◇目次◇

- 1 局長あいさつ、南関東防衛局組織図
 - 2 新幹部紹介
 - 3 第10次東富士演習場使用協定の締結
 - 4 「日米交流ひな祭り音楽コンサート」の開催、入省しての抱負
 - 5 「第13回防衛問題セミナー」の開催、こんにちは!横須賀防衛事務所です。
 - 6 「自衛隊静岡地方協力本部」の紹介
 - 7 関係自治体だより
- 特集：地方協力確保室が新設されました

編集企画:南関東防衛局 広報紙「よこはま」編集委員会
発行:南関東防衛局 総務部報道室 TEL 045-211-7129
〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第二合同庁舎

局長あいさつ



南関東防衛局長
深山 延暁
(みやま のぶあき)

夏本番となりました。

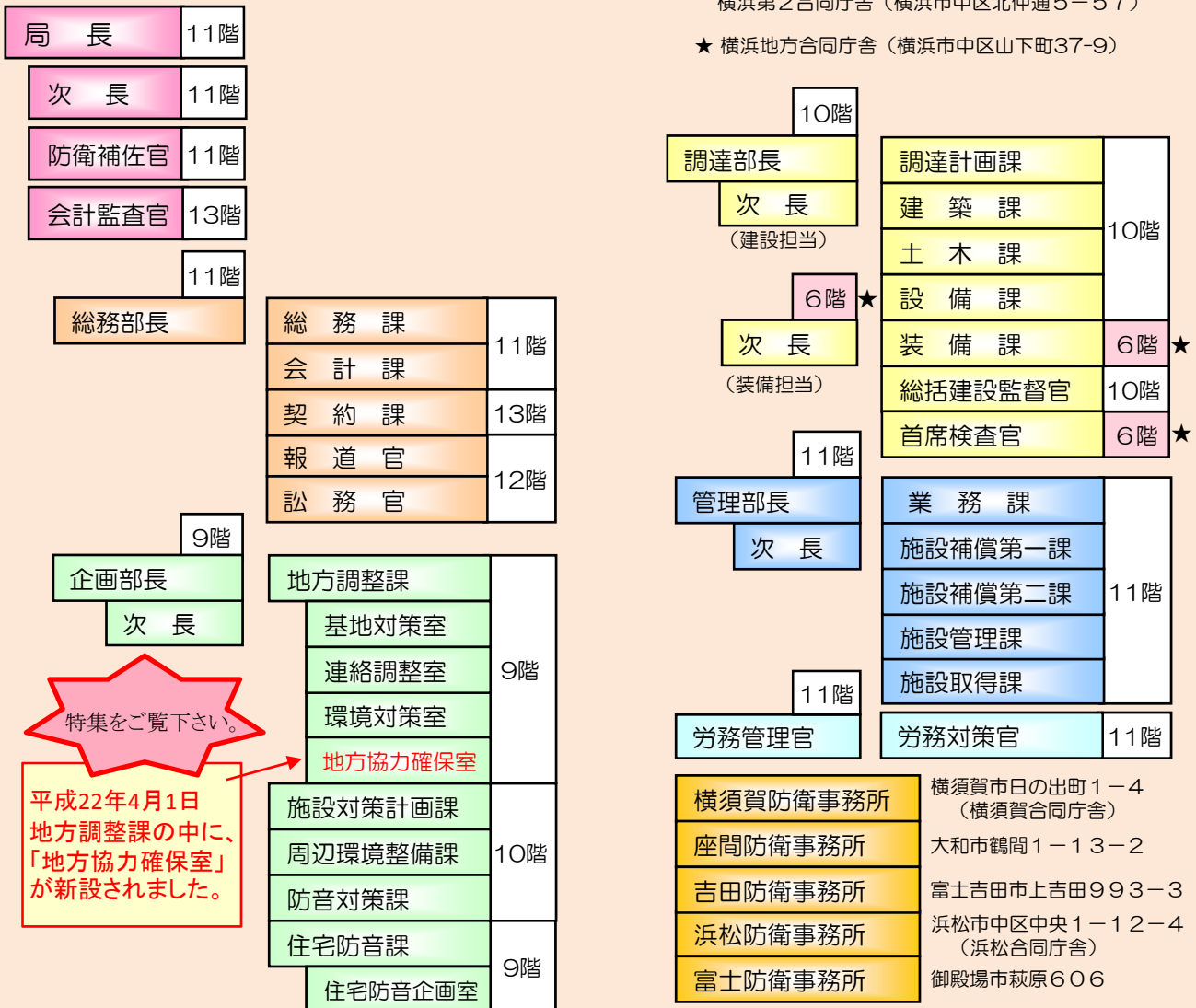
私たち南関東防衛局も、3月に静岡県東富士演習場について、地元自治体・権利者の方々の御理解を得て、第十次使用協定を締結させていただくなど、いくつかの課題を達成して22年度をむかえることができました。

今年度も自衛隊・米軍が使用している各防衛施設の設置・運用により生ずる航空機騒音等の障害を防止・軽減するため周辺対策事業を行うとともに、各種建設工事なども着実に実施していきたいと考えています。また、防衛問題の広報などの「地方協力確保事務」もより積極的に行います。そのため、4月1日から当局に「地方協力確保室」を設置いたしました。初仕事として6月23日に静岡市で「防衛問題セミナー」を開催いたしました。国民の皆様が当局を「防衛についてのデータベース」としても使っていただけたら、と思っています。

南関東防衛局組織図

横浜第2合同庁舎（横浜市中区北仲通5-57）

★ 横浜地方合同庁舎（横浜市中区山下町37-9）



新幹部紹介



防衛補佐官 尾畑 典生（おばた のりお）

3月25日付けで防衛補佐官を拝命しました海上自衛官の尾畑です。よく遊びに来ていたここ横浜で勤務できることに心躍る一方、管内に日米の枢要な部隊が所在するこの南関東防衛局で防衛補佐官として勤務することに日々身が引き締まる思いがしています。

防衛補佐官は自衛官の立場として、各種事務の企画・立案への参画及び部隊運用の見地から助言を行うことなどが職務とされています。私は哨戒機P-3Cの操縦士として、これまで主として部隊の運用に関わる部署で勤務して参りました。これまでの部隊勤務の中で経験したこと等を十分に活用し、引き続き南関東防衛局が円滑にその役割を果たしていけるよう全力で職務に取り組んでいきたいと考えています。



会計監査官 後藤 充志（ごとう あつし）

4月1日付けで会計監査官を拝命しました後藤です。昭和62年11月から平成元年3月の間、旧横浜防衛局施設対策第一課勤務以来、2度目の横浜勤務です。当職の業務内容は、会計検査又は内部部局の職員が行う会計監査等についての連絡及び調整に関する事務を行うものです。今後ますます、行政の透明化・会計経理の適正化は求められております。

これらの業務はみなさまの御協力なくしてできません。よろしく願いいたします。



管理部長 清水 平（しみず たいら）

4月1日付けで管理部長を拝命しました清水です。管理部での業務は初めてになりますので、何かとご不便をおかけすることもあるかと思いますが、新たな緊張感を持ちつつ、一つ一つの課題に地道に取り組んでいきたいと思っておりますので、前職（企画部次長）時代に引き続きよろしくお願いいたします。

管理部の業務は、各種の補償、借料交渉や施設の管理といったものが主になることから、関係自治体や地元の皆様方等との日頃からの情報交換や連携が重要と考えております。

このことから、職場におきましては、情報を共有するなどして、お互い何でも相談できるような明るい職場作りに心がけ、業務の円滑な処理に最善を尽くしたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

第10次東富士演習場使用協定の締結

平成22年3月31日、静岡県御殿場市内の市民会館において、第10次東富士演習場使用協定の調印式が、榛葉防衛副大臣、防衛省井上地方協力局長、深山南関東防衛局長、三本富士学校長、松浦静岡県民部長、若林御殿場市長、大橋裾野市長、高橋小山町長、勝又東富士演習場地域農民再建連盟委員長ほか地元権利関係代表者ら多数出席のもと執り行われました。



本演習場の使用協定は、昭和34年に第1次使用協定が締結されて以来、半世紀に亘って国と地元行政及び権利者団体とが、協定有効期間満了の都度、厳しい協議の末更新を重ねてきたもので、平成17年3月には、平成22年3月末日までを有効期間とする第9次使用協定が締結されていました。



防衛省としては、平成22年4月以降も引き続き本演習場を使用するため、平成21年11月、南関東防衛局長から静岡県知事、2市1町（御殿場市、裾野市、小山町）の首長、東富士演習場地域農民再建連盟委員長及び地元権利者代表に対して、第10次使用協定締結に係る協力依頼を行い、同年12月、国と地元行政及び権利者が一同に会する「東富士演習場行政・権利協定当事者合同会議」を開催しました。

地元行政及び権利者からは、第9次使用協定の終結に際し、複雑多岐にわたる課題が提議され、年明けから十数回の協議を重ねてきました。

これらの協議の中で、最後まで地元側の理解が得られなかった「米軍東富士演習場全面返還」に関する課題等については、平成22年3月30日に防衛大臣及び地方協力局長がそれぞれ直接地元代表者と会談を行い、その結果を受け、同年3月31日に御殿場市民会館で開催した「東富士演習場行政・権利協定当事者合同会議」において、国と地元行政及び権利者双方が、第9次使用協定の終結を確認し、平成22年4月1日から平成27年3月31日を有効期間とする第10次使用協定が円満に締結されました。



「日米交流ひな祭り音楽コンサート」の開催

平成22年3月5日（金）、相模原市内にある学校法人佐藤学院豊泉幼稚園において、豊泉幼稚園と在日米陸軍キャンプ座間及び相模原住宅地区内の園児及び父兄等約170人が参加し、日米交流事業を開催しました。

この交流事業は、基地周辺住民と米軍人やその家族とが、日本の伝統文化である歌や折り紙の体験等を通じて、お互いに理解を深めてもらおうと南関東防衛局が企画をしました。



音楽コンサートでは、最初は戸惑っていた日米の園児たちも、すぐにうち解けて、父兄といっしょに元気に歌や踊りをしました。



折り紙教室では、米側の園児達も初めての経験でしたが、日本側の園児・父兄に教わりながら上手に折ることができました。

入省しての抱負

企画部住宅防音課 鷗沼 茜（うぬま あかね）

入省してから2ヶ月が過ぎました。社会人経験はありましたが公務員としてまだまだ未熟な私に、先輩・上司の方々は忙しい中でも丁寧に指導してくださり、現在は、少しずつですが業務の一端に関わり、必死で取り組む毎日を送っています。

4月14～16日には初任者研修を受講いたしました。4月入省の同期と共に、改めて国家公務員になる、防衛省職員になるということの意味を実感し、行政と地域住民の間を取り持ち、スムーズな運営を支える一員としての決意を新たにしました。

「局内有数の大変な部署(!?)」で揉まれながら、一日も早く戦力となれるよう頑張りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



富士防衛事務所 楠 幸太（くすのき こうた）

私が入省したきっかけは、大学で判例研究をしていた際に、地方防衛局の取り組みを知ったことでした。もともと自衛隊の取り組みを知る機会が多く、国防に携わりたいという希望がありましたが、国防行政は多種多様であるを知り、この業務に関心を持ち志願いたしました。

4月に受けた初任者研修では、政策立案シミュレーションや部隊研修等、貴重な体験を経ることで、国防行政を担う事務官としての自覚を持つようになりました。

現在、事務所での仕事は毎日が勉強でとても大変です。その中で先輩方の指導のもと、少しずつ仕事に慣れ、とても充実した日々を過ごしています。事務官としての道のりは始まったばかりですが初心を忘れず、しっかり業務に励んでいきたいと思えます。

「第13回防衛問題セミナー」の開催

テーマ：ソマリア沖・アデン湾の現状と海賊対処活動

場 所：横浜市開港記念会館 講堂
開催日：平成22年3月2日（火）
講 師：自衛隊神奈川地方協力本部長 五島浩司 1等海佐
社団法人日本船主協会 半田收 常務理事



横浜市開港記念会館



五島 1等海佐

深山南関東防衛局長

半田常務理事

3月2日（火）、横浜市中区の横浜市開港記念会館において、「ソマリア沖・アデン湾の現状と海賊対処活動」をテーマに第13回防衛問題セミナーを開催しました。今回は、平成21年3月から約4ヶ月間、第1次派遣海賊対処水上部隊の指揮官として活躍された五島1等海佐（現自衛隊神奈川地方協力本部長）並びに、その海域に多くの客船や商船を運航している海運業界から日本船主協会の半田常務理事を迎えて行いました。このセミナーは、最近のソマリア沖・アデン湾の海賊の現状と海上自衛隊等が行っている海賊対処活動について広く市民の皆様理解してもらうことを目的に開催し、約340人の参加がありました。

講演後、参加者からは「海賊対処の実態がよく分かった。」、「親の死に目に会えず倉庫の奥で号泣した若い隊員の話には心打たれた。」といった感想をいただきました。

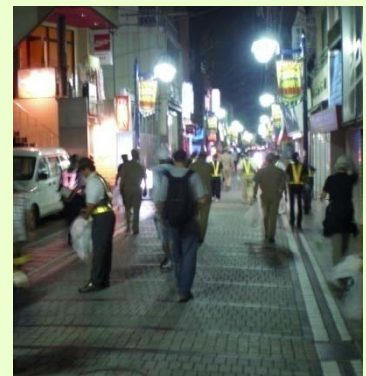
こんにちは！ 横須賀防衛事務所です。

夜間巡回パトロール

5月21日（金）の午後10時30分から午前0時までの間、地元自治会、神奈川県、横須賀市、米海軍横須賀基地、ガーディアン・エンジェルス、海自横須賀地方総監部及び横須賀防衛事務所などが参加して、ドブ板通りなどの市内繁華街の夜間巡回パトロールを実施しました。

これは、平成6年に米兵と日本人の集団乱闘騒ぎを受け、犯罪・事故防止を目的に同年10月から毎月1回行われているもので、平成20年2月で150回目を迎えて、今日に至っております。

パトロールは、コース路上に落ちている吸い殻や空き缶などのゴミを拾いながら行い、多少なりとも街の美化や犯罪防止に寄与しているものと考えております。今後とも、地元にご貢献できることがあれば事務所としても積極的に取り組んでいきたいと考えております。



池子フレンドシップデー

米海軍池子住宅地区内の陸上競技場(逗子市)を一般開放し、「池子フレンドシップデー」が5月22日（土）に開催されました。このイベントは、地域交流を目的に毎年行っており、今年で14回目となります。



「自衛隊静岡地方協力本部」の紹介



静岡地本マスコットキャラ
「しずぼん」

自衛隊静岡地方協力本部（略して静岡地本）は、静岡市葵区柚木に本部を設置し、県下11ヶ所に出先事務所を配置しております。

静岡県下における防衛省・自衛隊の総合窓口として、自衛官の募集、各種広報等の任務を担当し、本部長の唱える「前進」をスローガンに、勤務員一同、日々の業務に邁進しています。



【本部長の紹介】

階級：1等空佐
氏名：柏瀬 静雄（かしわせ しずお）
出身：静岡県
前配置：航空幕僚幹部（市ヶ谷駐屯地）
現配置：H21.12.1～



装備品展示
（静岡ホビーショー）



本部長と勤務員一同



中学生に対する
高等工科学校の説明



定年退職予定者教育
（会社研修）



予備自衛官訓練風景



駐屯地記念行事
における広報活動

【問い合わせ先】

住所 〒420-0821 静岡市葵区柚木366

電話 054-261-3151

URL <http://www.mod.go.jp/pco/sizuoka/>

静岡地本

検索

孤高にそびえたつ秀麗な山。そんな世界に誇る富士山の麓に抱かれる富士吉田市は、山梨県の南東部、富士山の北側に位置し、海拔650mから900mに市街地が形成された高原都市で、人口は約5万2千人余、面積は12,183haです。

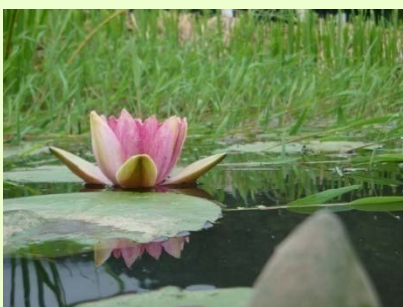
本市は、東京都心部から約100km圏内にありながら豊かな自然景観を有しており、住民の憩いの場、コミュニティーの場、あるいは災害時の避難場所として民生安定事業を活用して平成17年から21年の5年間で3つの自然を生かした公園を整備しました。古くから、はすの群生で名高い明見湖公園、富士山の眺望が日本一であると自負する浅間公園、富士山の麓に自生する植物を極力生かしながら管理する植物園的な富士散策公園です。これらの3公園は、住民が自然・景観の恩恵に浴することはもちろんのこと、住民のウォーキング等の健康づくりや、季節によっては地区のイベントの場として親しまれています。今後は、これらの公園を有機的に連携させ市域全体で活用し一層住民の憩いの場及び災害時の避難場所として充実させていきたいと考えます。

市南部には、富士山の裾野に広がる約4,600haの規模を持ち市面積の約1/3を占める北富士演習場があります。本演習場は、静岡県との県境を挟んで東富士演習場と隣接しており、小火器から重火器までを使用した様々な規模の訓練が行われているほか、沖縄県道104号線越え実弾射撃の移転訓練にも使用されています。

本演習場の特徴としては、演習場の土地に関わる「入会権の問題」が上げられます。江戸期以来、本演習場周辺地元旧11カ村の農民は、現演習場地を入会地として生活の糧を得ていました。明治期の官有地編入、御料地指定、恩賜県有財産として下賜、昭和期の旧日本陸軍による買収、終戦後の米軍の接收、米軍撤退後の自衛隊の使用と土地の所有形態は様々に変化してきましたが、地元住民の入会慣習は脈々と引き継がれ今日にいたっています。そのような中、昭和30年代から40年代にかけての自衛隊への使用転換をめぐる地元住民闘争は凄まじいものとして歴史に刻まれております。昭和48年の使用協定の締結、昭和63年の入会協定締結後は闘争も落ち着きを見せておりますが、地元住民の入会地返還に対する思いは後世へと継承されていくと思われまます。

本市は、このような特徴的な歴史を踏まえて、国是の下、北富士演習場が安定的に使用されますよう防衛施設周辺地域の生活環境等の整備を通して、今日の地元住民の生活の安定及び福祉向上を一層充実させるべく防衛省に対して働きかけていく所存です。

(富士吉田市演習場対策室)



明見湖公園のはす



富士散策公園



浅間公園からの富士山眺望と
富士山麓に広がる北富士演習場

地方協力確保室が新設されました

平成22年4月、南関東防衛局企画部地方調整課に地方協力確保室が新設されました。当室は、室長、調整官、室長補佐、係長2名の5名体制です。防衛政策について、地方公共団体や地域住民の皆様の理解と協力（地方協力確保事務）が得られますよう、より一層努力してまいります。

地方協力確保室の取り組み

南関東防衛局は、平成19年9月、防衛省の組織改編にともない防衛省全般の地方における拠点として新設されました。

この改編により、地元との緊密な関係を大切にする考えの下、有事の際の国民の保護、大規模災害、基地問題などに適切に対応するため、地方防衛局の役割に地方協力確保事務が付与されました。

南関東防衛局では、地元の皆様に様々な防衛問題や防衛省の政策などを広くご理解いただくため、当室において、次のような取り組みについて引き続き強化してまいります。

地方公共団体への「防衛白書の説明」

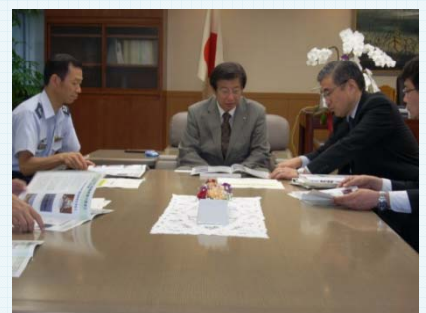
平成21年版防衛白書について、神奈川、山梨、静岡の各自衛隊地方協力本部と協力し、地方公共団体の皆様に説明しました。



神奈川県知事への説明 (H21.9.29)



山梨県知事への説明 (H21.9.10)



静岡県知事への説明 (H21.9.8)

防衛問題セミナーの開催

防衛政策等を皆様に広く理解していただくため、防衛問題セミナーを開催しており、平成21年7月に横浜市において、10月に浜松市において、「ミサイル防衛」を、また、平成22年3月に横浜市において、「ソマリア沖・アデン湾の現状と海賊対処活動」をテーマに開催しました。



第11回防衛問題セミナー (H21.7.29)
横浜関内ホール



第12回防衛問題セミナー (H21.10.20)
浜松プレスタワー

有事の際の国民保護や大規模災害に際しての取り組み

平成21年11月、陸上自衛隊武山駐屯地（横須賀市）において、横浜市、川崎市、神奈川県、神奈川県警、自衛隊の5機関による災害時の連携態勢について検証する合同震災対策図上訓練が行われ、当局も参加し演練しました。



被災地を地図で確認する職員



被害情報を整理する職員

FM放送を利用したの業務等説明

平成22年1月、静岡県静岡市清水区を中心としたエフエムしみず「マリンパル」(76.3MHz)で放送されている自衛隊広報番組「自衛TIMES★静岡」において、深山局長がゲスト出演し南関東防衛局の業務等をPRしました。



パネル展の開催

平成22年2月、横浜第2合同庁舎において自衛隊神奈川地方協力本部と共催で、防衛政策広報のパネル展を開催しました。



「災害派遣及び海賊対処」の写真を見る市民

防衛政策パンフレットの配布

部隊行事や地元の催しなどの各種機会を利用して、各種パンフレットを配布し、防衛政策について理解を求めました。



「ソマリア沖・アデン湾における海賊対処と自衛隊」のパンフレットを配布する職員（H21.8.1 横浜防災フェア）